

## オープン市場短信 (2016年12月)

2016.12.12

### ◆ 11月のCP市場動向

11月のCP（短期社債）の月末残高は、15兆1349億円と、前年同月比で▲3836億円の減額となり、14か月連続して前年実績を下回る結果となった。前月比では、事業法人の配当金や賞与資金手当て等の資金需要から、+9937億円の増額となった。発行残高の動向として、増額は一般事法で+7240億円、その他金融で+1629億円、金融機関で+1789億円であった。一方、減額はABC Pで▲721億円であった。

発行レートの動きは、投資家の運用ニーズが引き続き強く、前月と変わらず0%近辺の出合いが中心であった。

### 【新発3M物の発行レート】

最上位銘柄（a-1+格）0%近辺。一般事業法人（a-1格）0%近辺～0.004%近辺。その他金融銘柄（a-1格）0%近辺～0.035%。

### 【業態別残高内訳】

（単位：億円）

業 態	11月末残高	10月末残高	増 減
一般事法	49,075	41,835	7,240
その他金融	69,093	67,464	1,629
金融機関	20,152	18,363	1,789
政府系金融	0	0	0
銀行等	12,155	11,950	205
証券	7,997	6,413	1,584
ABC P	13,029	13,750	-721
計	151,349	141,412	9,937

（注：買入消却分含む）

### 【格付け別の発行レート】

### 11月のCPLレートレンジ

（単位：%）

格 付	1ヵ月	2ヵ月	3ヵ月
a-1+(一般事法)	▲ ～ 0.0000%	— ～ —	▲ ～ 0.0000%
a-1(一般事法)	— ～ —	— ～ —	0.0000% ～ 0.0000%
a-1+(リース銘柄)	▲ ～ 0.00500%	▲ ～ 0.0000%	▲ ～ 0.0001%
a-1(リース銘柄)	0.0000% ～ 0.0010%	▲ ～ 0.0012%	▲ ～ 0.0350%
a-2	0.0004% ～ ケ0.10%	0.0010% ～ ケ0.10%	0.0000% ～ ケ0.10%

### 《CPオペ》

CP買入オペのオファー額は予定通り、8・15日が3000億円、25日が3500億円にてオファーされ、合計9500億円であった。前月対比では、▲1000億円の減額（10月は合計1兆500億円）となった。オペはオファー減額となったものの、応札銘柄の減少も顕著につき、ディーラーが売り急がず、按分レートは前月比で低下した。

【月末オペ残高：2兆3343億円】

#### 日報 CP等買入れオペ実績

(単位:億円)

実施日	実行日	オファー金額	応札額	落札額	按分・全取	平均落札	按分比率
11月8日	11月11日	3,000	6,065	2,950	-0.001%	-0.001%	78.9%
11月15日	11月18日	3,000	5,381	2,980	-0.005%	-0.002%	43.9%
11月25日	11月30日	3,500	6,684	3,487	-0.004%	-0.001%	26.7%

### 《ABCP》

ABCPの月末残は、前月比▲721億円減少し1兆3029億円であった。前年同月比でも▲755億円の減少となり、過去最低水準の発行残高となった。

### 《短期社債登録状況》

証券保管振替機構によると、11月末時点における発行登録企業数はオリコオートリースが新規登録し、1社増えて522社となった。

### 《CP現先市場》

現先(S/N)レートは、0%近辺での出会いとなっていた。

## ◆ 12月のCP市場動向

12月のCP償還額は約3兆6200億円で、前年同月の償還額（約3兆4400億円）を上回っている（除く、相対発行分・金融機関発行CP・ABCP）。

今月の発行動向は、税金支払いや賞与資金等の資金需要により、期落ち額に対して発行増が予想される。但し、四半期末要因から月中償還物の発行が多く、月末残高は15兆円台半ばに止まると思われる。

発行レートは、月中償還物で若干の上昇地合いを予想するが、投資家の運用ニーズが強い年越え物の発行案件は、0%近辺での出会いとなろう。

### 《CPオペ》

今月のCPオペのオファーは、6日・13日・27日で各回4500億円と合計1兆3500億円となっている（先月は3000億円×2回、3500億円×1回で合計9500億円）。

6日のオペは、応札金額が1兆円を上回ったが、按分レートは横這い。平均落

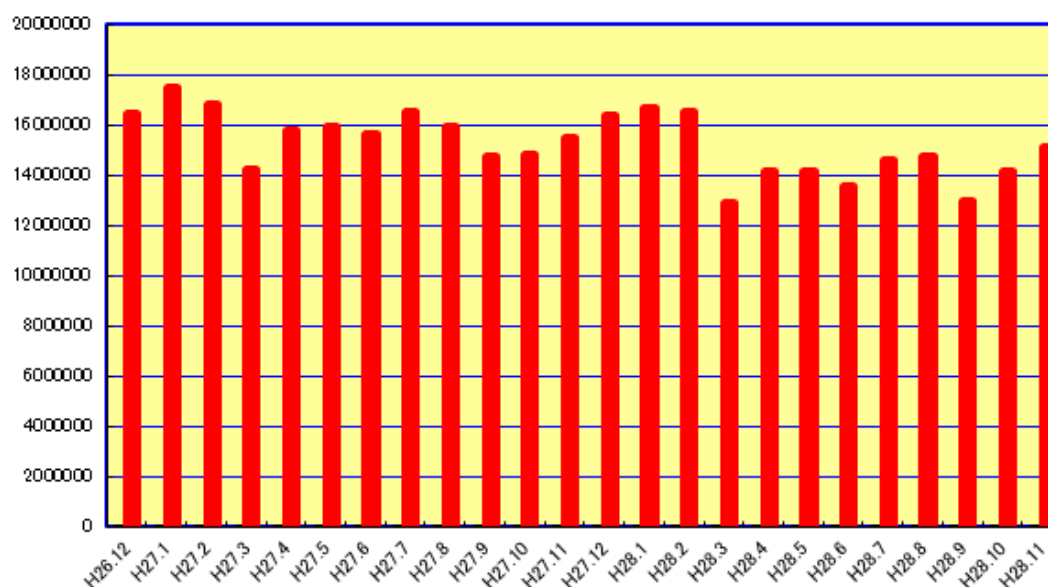
札レートは、前回に比べ小幅低下した。年末にかけてオペレートの低下期待もあって、ディーラーが慎重に対応したためと思料。年末のオペでは、年越え物発行の伸び悩みから、按分・平均落札ともにレート低下が見込まれる。

#### 《CP現先市場》

CP現先レートは、投資家のプラス圏内での運用ニーズは変わらず、先月同様0%近辺での出合いを予想する。

#### 参考資料

短期社債月末残高（26年12月～28年11月）



#### 11月末発行残高ベスト10

(単位:百万円)

	発行企業名	11月末残高	10月末残高
1	三井住友ファイナンス&リース	875,700	885,300
2	三菱UFJリース	730,600	741,100
3	東京センチュリーリース	583,300	575,600
4	三菱UFJ信託	500,000	534,000
4	みずほフィナンシャルグループ	500,000	500,000
6	コンチェルト・レシーバブルズ・コーポレーション	452,250	474,360
7	JXホールディングス	450,000	380,000
8	三菱重工業	422,000	372,000
9	三菱UFJモルガンS証券	410,000	210,000
10	クレディセゾン	373,000	317,000

参考出所 (株)証券保管振替機構

---

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性について保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

上田八木短資株式会社

登録金融機関 近畿財務局長（登金）第 243 号

大阪本社 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋 2 丁目 4 番 2 号

東京本社 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1 丁目 2 番 3 号

加入協会 日本証券業協会